

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	中央公民館事業					
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係	課長名	佐伯 芳幸

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。				施策番号	1-2	5-3	5-4
【施策名】 生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 地域を越えたパートナーシップの確立				総合計画書 (ページ)	35	110	113

予算名	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業	1	中央公民館事業費
-----	---	----	-----	---	---	-------	---	---	------	----	---	----------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		市民	市の人口【4月1日】
		→	
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		地域で、学習の場に参加できる。	①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(3月現在)
		→	
		③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤中央公民館だよりの発行	①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤中央公民館だよりの発行回数
		→	

2	指標の推移			単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	/	/	
		成果指標	②の数値	①人 ②人 ③グループ	① 2,511 ② 96,853 ③ 115	① 7,617 ② 96,121 ③ 155	① 3,321 ② 100,527 ③ 132	/	/	
		目 標	②の目標値	目標値設定の考え方						
		活動指標	③の数値	①人 ②人 ③回 ④% ⑤回	① 30 ② 44 ③ 3 ④ 67.47 ⑤ 3	① 30 ② 39 ③ 5 ④ 66.74 ⑤ 3	① 30 ② 53 ③ 3 ④ 68.53 ⑤ 3	/	/	

3	経費	事業費(実績)		円	31,428,537	36,186,783	30,814,042	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財源	一般財源		円	30,914,397	32,461,570		29,891,632
			特定財源		円	514,140	3,725,213		922,410
		(うち受益者負担)		円	499,140	523,460	412,410		
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	5.0	5.0		5.0
			所要人数(再任用)		人				
職員人件費(再任用以外)		円	41,335,000	41,265,000	41,220,000				
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	72,763,537	77,451,783	72,034,042				

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和49年8月、市内2番目の公民館として開館。市民の生涯学習を目的としている。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	利用者の高齢化
		施設の利用について、インターネット予約抽選を平成28年4月利用分から開始した。	

仕 事 の 内 容	中央公民館事業			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民より、トイレの様式便器化、手話通訳ができる職員の雇用について意見があった。 ・議会より、施設改修、更新について意見があった。 				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	①②⑤⑥（市報・こうみんかんだより・HP）⑦		
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
公民館まつりの実行委員会方式やママ・マルシェの公民館共催事業、オータムフェスティバル等参加者と作り上げるイベントなど協働の形が定着しつつある。行政主導となりすぎず、市民と行政とがお互いの役目を理解し、確認しつつ各事業を盛り上げていくことが肝要となる。					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や備品の老朽化による不具合への対応。・高齢化やレジャーの多様化による利用者やグループの減少。・高齢者等インターネットに不慣れた利用者への説明。 				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に施設、備品の点検を実施 ・公民館講座受講者による自主活動グループの活動支援を実施 ・窓口にて施設予約システムの操作説明を実施 				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・施設、備品の修繕件数の増加に伴う施設、備品修繕費の予算確保 ・自主活動グループの活動に繋がる公民館講座実施 ・施設予約システムの操作説明の継続実施 					
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システム利用者に対し窓口や電話での丁寧な説明。 ・市民が地域活動をするきっかけづくりとなり、併せて公民館利用グループの新規会員を募集する事業である「公活パーティー」をさらに充実し、利用者の増へつなげる機会を提供する。 ・講座内容を充実させ、新たなグループが出来るような働きかけを行う。 ・老朽化している施設について実施計画等に記載、計画的に予算要求していく。 				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システムのマニュアルの活用。市民とシステム操作を一緒に行うなどの説明。 ・「公活パーティー」の内容を充実させる ・主催講座からの新たなグループづくりを目指す。 ・実施計画への計上と併せて、予算の範囲内で緊急性のあるもからの修繕。 				
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。